

質問

4 番議員 望月 建志

標 題 働きやすい環境づくりについて

働きやすい環境づくりについて質問します。

近年、沼津市は駿河湾など地の利を生かした観光業に力を入れている印象を受けます。それに伴い、来訪する観光客数は増加の傾向にあると認識しております。しかし、観光産業が賑わいを見せる一方で、少子高齢化に加え、産業を支える生産年齢人口の減少がみられます。つまり、経営者及び働き手の高齢化、そしてその後継者不足が近年の沼津市が抱えている問題なのではないでしょうか。現在、賑わいを見せている市内の産業が持続、発展していくうえでは、この問題は早急に解決すべきであると思います。特に、私たち新成人のような社会を支える側に立ち始めたまたはこれから担っていく者にとって住みやすいまちづくりは、諸産業の発展のみならず、少子高齢化に歯止めをかけることにも繋がるはずだと考えます。

市内に大学が誘致され、若者が一層沼津を訪れることが予想される今、働きやすい環境づくりについて沼津市が力を入れている事や今後の方針をお聞かせください。

回答

働きやすい環境づくりについてお答えします。

沼津市では、若い世代の皆様にも、自分らしく暮らし、働くことの魅力を感じ、住み続けたいと思われるようなまちを目指して、「誇り高い、元気なまち沼津」の実現に向けたまちづくりに取り組んでいます。

まず、まちの主役は人であり、誰もが働きやすい環境づくりは大変重要です。

そこで沼津市では、仕事と生活の両立を図るため、テレワークの導入をはじめとしたワークライフバランスの推進や、中小企業における勤労者の福利厚生の実施への支援など、働き方改革を推進しています。

全国的にも課題となっている後継者不足問題についても、専門的知見をもつ中小企業診断士、税理士等がそれぞれの立場から支援を行う事業承継ネットワークや、資金融資、経営相談等の支援を行う金融機関との連携により、長年培われてきた優れた技術や製品・サービス等を次世代につないでいけるよう取り組んでいます。

また、沼津市の力強い産業発展の一翼を共に担っていただくため、首都圏の学生と市内企業のマッチングや、奨学金返還支援制度等によるUIJターン就職の推進、女性や

高齢者などの多様な人材活用を支援するとともに、産業発展を実現するため、工業用地の確保や企業進出を促す営業活動を行うなど、企業誘致の取り組みにも積極的に力を入れています。

昨年来、世界を襲った新型コロナウイルス感染症は、これまでに私たちが経験したことのないものであり、世界経済は短期間のうちに深刻な状況に陥りました。

沼津市においても、経済活動に大きな影響を受けましたが、古くから陸路、海路の要衝として、商業機能が集積するとともに、戦後間もない時期から工作機械などの工場進出により、中小企業が技術力を高めてきた歴史があります。コロナ禍の中でも、新製品の開発、新たな販路開拓などにより、ピンチをチャンスと捉えて事業展開を進める企業もあるなど、沼津市の産業は、逆境に屈するものではないと考えています。

4月には、東都大学ヒューマンケア学部看護学科と、静岡県立工科短期大学の沼津キャンパス開校が予定されており、産官学の更なる連携が期待されます。

今後も、学びたい、働きたい、そして住み続けたいと思っただけのまちづくりに努めていきますので、これからの沼津を担う若い世代の皆様には、是非とも、更なる活性化に向けて、一緒にまちづくりに参画していただきたいと考えています。